

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあざかり厚くお礼申し上げます。さて、「日系外債オープン（為替ヘッジあり）」は、このたび、第13期の決算を行いました。

当ファンドは、日系外債マザーファンドⅡを通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資し、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第13期末(2025年10月15日)

| | |
|------------|--------|
| 基 準 価 額 | 9,425円 |
| 純 資 産 総 額 | 143百万円 |
| 第13期 | |
| 騰 落 率 | 4.6% |
| 分配金(税引前)合計 | 70円 |

(注) 謄落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

日系外債オープン (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2025年4月16日～2025年10月15日

交付運用報告書

第13期(決算日2025年10月15日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

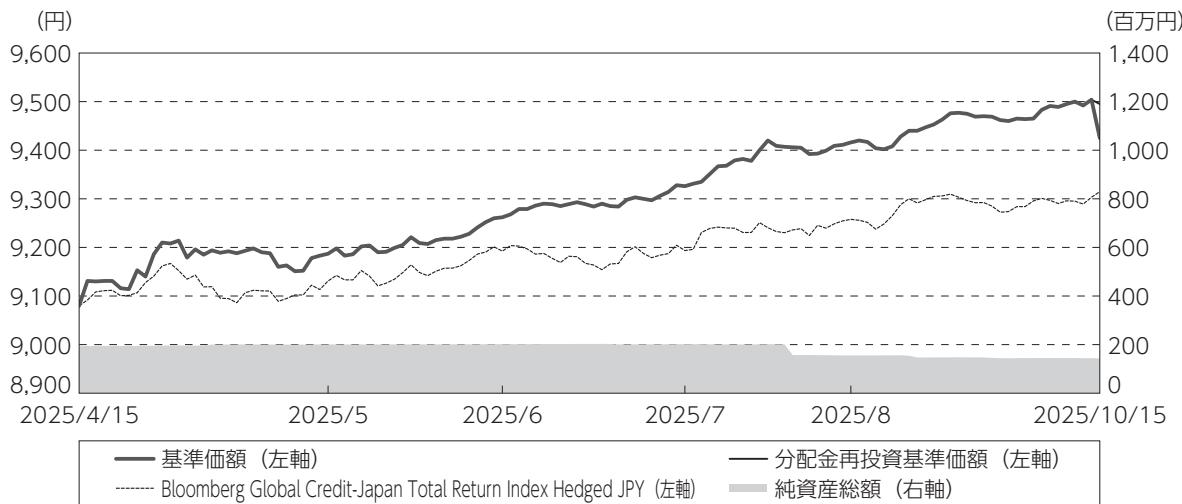
■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年4月16日～2025年10月15日)



期 首：9,080円

期 末：9,425円 (既払分配金(税引前)：70円)

騰落率： 4.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、Bloomberg Global Credit-Japan Total Return Index Hedged JPYです。参考指数は、当該日前営業日の指値です。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指標として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご覧ください。(以下同じ。)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2025年4月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「日系外債マザーファンドII」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- 保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- 投資対象とした米ドルの対円での上昇がプラス要因となりました。
- 投資対象としたユーロの対円での上昇がプラス要因となりました。
- 一部の保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・一部の保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナス要因となりました。

※当期においては投資対象とした米ドルやユーロが対円で上昇しましたが、「日系外債オープン（為替ヘッジあり）」では実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行ったため、為替変動に伴う基準価額への影響は限定的となっています。

1万口当たりの費用明細

(2025年4月16日～2025年10月15日)

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|----------------------|-------|---------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 32 | % 0.347 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (15) | (0.165) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (15) | (0.165) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (2) | (0.017) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 | 1 | 0.014 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (1) | (0.007) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (1) | (0.007) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合計 | 33 | 0.361 | |
| 期中の平均基準価額は、9,311円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

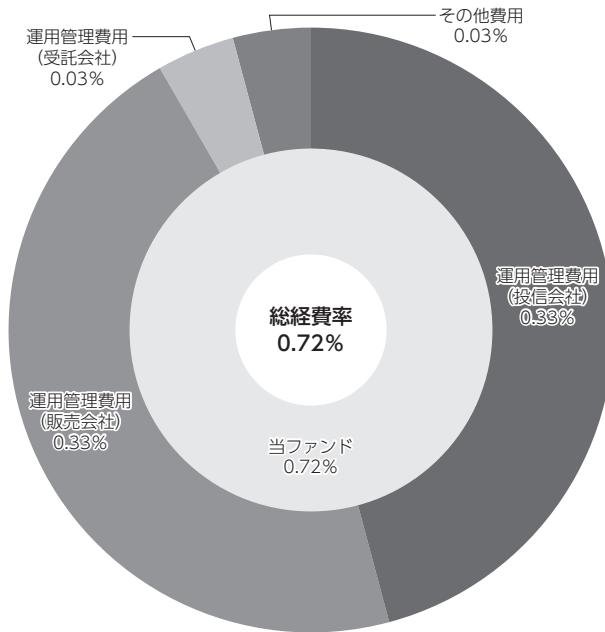
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年10月15日～2025年10月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) Bloomberg Global Credit-Japan Total Return Index Hedged JPYは当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年10月15日の値が基準価額となるように指標化しております。

| | 2020年10月15日 期初 | 2021年10月15日 決算日 | 2022年10月17日 決算日 | 2023年10月16日 決算日 | 2024年10月15日 決算日 | 2025年10月15日 決算日 |
|---|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 10,609 | 10,626 | 9,411 | 9,220 | 9,512 | 9,425 |
| 期間分配金合計（税引前）(円) | — | 90 | 70 | 40 | 20 | 110 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 1.0 | △ 10.8 | △ 1.6 | 3.4 | 0.3 |
| Bloomberg Global Credit-Japan Total Return Index Hedged JPY騰落率 (%) | — | 0.3 | △ 12.4 | △ 0.2 | 3.8 | 1.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 369 | 228 | 173 | 179 | 194 | 143 |

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2025年4月16日～2025年10月15日)

欧米の債券市場は、短期ゾーン中心に利回りが低下（価格が上昇）しました。欧米主要中央銀行の利下げを受けて、全般に買いが優勢な展開となりました。ただ、欧州では財政拡張が警戒されて売りが出た影響もあり、一部で利回りが上昇（価格が下落）する動きも見られました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、全般に縮小しました。好調な企業業績の発表等を受けて、投資家のリスク志向が強まる展開となりました。また、欧米主要中央銀行の金融緩和を背景に、社債市場で利回り追求の動きが続いたことも、スプレッドの縮小を促しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年4月16日～2025年10月15日)

「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入比率を概ね高位に保ちました。

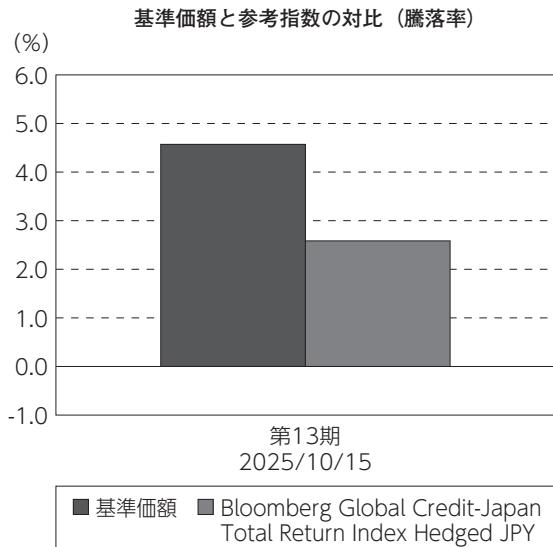
実質組入外貨建資産につきましては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

「日系外債マザーファンドⅡ」においては、日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券に投資を行い、同債券の組入比率は概ね高位を保ちました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等での魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期においては、市場動向に応じてポートフォリオのデュレーション等を調整しつつ、利息収入の確保に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年4月16日～2025年10月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指標は、Bloomberg Global Credit-Japan Total Return Index Hedged JPYです。

分配金

(2025年4月16日～2025年10月15日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかつた留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行つてまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第13期 |
|--------------------|----------------------------|
| | 2025年4月16日～ 2025年10月15日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 70 0.737% |
| 当期の収益 | 70 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,898 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

欧米主要国の債券市場については、利回りの低下を予想します。各国とも物価指標が落ち着いた推移を続けていることなどから、今後も欧米主要中央銀行は緩和的な金融政策を維持できると考え、市場は全般に債券を買う動きが優勢となることを見込んでいます。

スプレッドについては、安定した動きとなることを予想します。引き続き緩和的な金融環境を背景に、投資家の高利回り志向が続くと見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、主要な投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。また、実質組入外貨建資産につきましては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

お知らせ

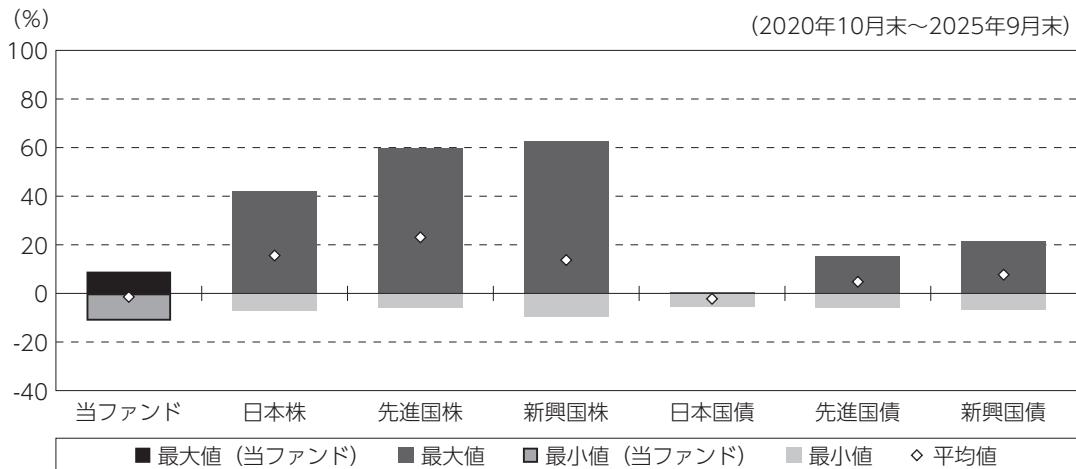
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|---------|--|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信 託 期 間 | 2019年4月1日から2045年4月14日までです。 | |
| 運 用 方 針 | 日系外債マザーファンドⅡ（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 | |
| 主要投資対象 | 当 フ ァ ン ド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 日系外債マザーファンドⅡ | 取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。 |
| 運 用 方 法 | 当 フ ァ ン ド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。 |
| | 日系外債マザーファンドⅡ | 銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目します。 |
| 分 配 方 針 | 每年4月15日および10月15日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 9.0 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 最小値 | △ 11.2 | △ 7.1 | △ 5.8 | △ 9.7 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 7.0 |
| 平均値 | △ 1.4 | 15.6 | 23.1 | 13.7 | △ 2.2 | 4.8 | 7.7 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年10月から2025年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日にに対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指標》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指標についての説明は、後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>をご参照ください。

(注) 海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

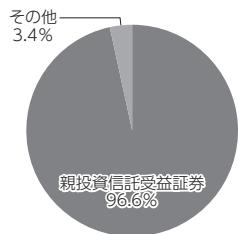
組入資産の内容

(2025年10月15日現在)

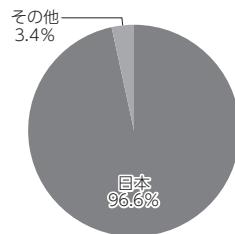
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第13期末 % |
|--------------|------------|
| 日系外債マザーファンドⅡ | 96.6 |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

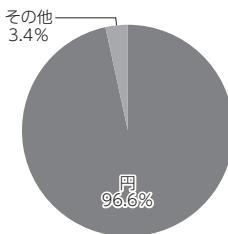
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

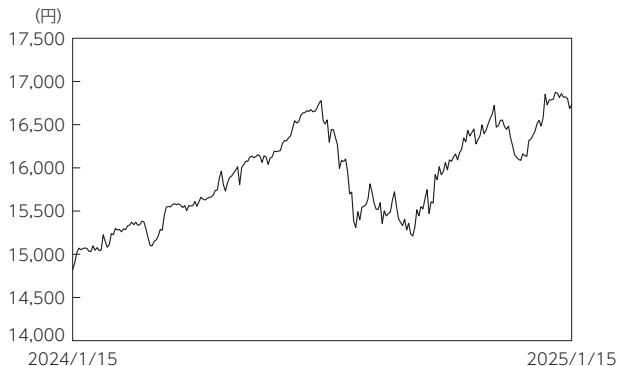
| 項目 | 第13期末 |
|------------|--------------|
| | 2025年10月15日 |
| 純資産総額 | 143,028,369円 |
| 受益権総口数 | 151,748,954口 |
| 1万口当たり基準価額 | 9,425円 |

(注) 期中における追加設定元本額は9,864,961円、同解約元本額は70,753,539円です。

組入上位ファンドの概要

日系外債マザーファンドⅡ

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月16日～2025年1月15日)

| 項 目 | 当 期 | |
|---------------|-----|---------|
| | 金 額 | 比 率 |
| (a) そ の 他 費 用 | 3 | 0.016 |
| (保 管 費 用) | (3) | (0.016) |
| (そ の 他) | (0) | (0.000) |
| 合 计 | 3 | 0.016 |

期中の平均基準価額は、15,915円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

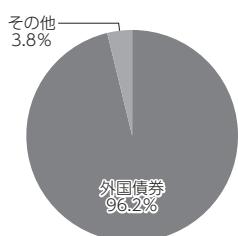
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

【組入上位10銘柄】

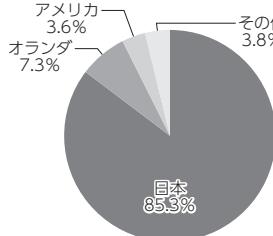
(2025年1月15日現在)

| | 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|-------|------------------------|-------------|-----|-----------|------|
| 1 | MITSUI SUMITOMO 4.95 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 8.6% |
| 2 | ASAHI MUTUAL LIF 6.9 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 8.3% |
| 3 | FUKOKU MUTUAL 6.8 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 7.6% |
| 4 | NIPPON LIFE INS 6.25 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 7.5% |
| 5 | SUMITOMO LIFE 5.875 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 7.1% |
| 6 | IMITSUB UFJ FIN 8.2 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 5.5% |
| 7 | MEIJI YASUDA LIF 5.1 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 5.0% |
| 8 | DAI-ICHI LIFE 4 | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 5.0% |
| 9 | JT INTL FIN SERV 2.375 | 普通社債券 | ユーロ | オランダ | 3.7% |
| 10 | SUMITOMO MITSUI | 普通社債券 | 米ドル | 日本 | 3.7% |
| 組入銘柄数 | | 20銘柄 | | | |

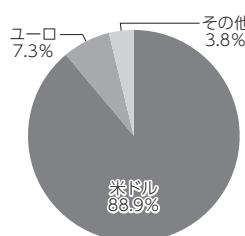
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<当ファンドの参考指標について>

「Bloomberg®」およびBloomberg Global Credit-Japan Total Return Index Hedged JPYは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」) をはじめとする関連会社 (以下、総称して「ブルームバーグ」) のサービスマークであり、SBI岡三アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはSBI岡三アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推薦するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>

騰落率は、データソースが提供する各指標をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX 総研又は株式会社JPX 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指標です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指標です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指標です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。